

## 事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109080h0003  
研究開発課題名 : 創修復作用を有する新規抗菌ペプチドを用いた遺伝的早老症患者の難治性潰瘍治療薬の開発  
研究代表機関名 : 国立大学法人大阪大学  
研究開発代表者名 : 中神啓徳

評価委員会のコメント :

### ○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

SR-0379 を用いた難治性皮膚潰瘍治療を目指した外用薬開発研究で、薬物の製造は確立され、薬効もほぼ確認されている。

糖尿病性潰瘍あるいは下腿潰瘍(虚血性・静脈性)を有する患者を対象として、二重盲検法により、有効性と安全性、指摘用量を示唆する結果を得て、Werner 症候群 3 例以上を含む糖尿病性潰瘍あるいは下腿潰瘍(虚血性・静脈性)群 3 例以上の Ph2a 試験を実施中である。

早期探索 P I / II 試験終了。Werner 症候群を対象とした本試験開始。導出先は決まっている。

### ○疑問点、改善すべき点、その他助言等

巨額の投資による研究開発を進めているが成果が挙がっていない。

Werner 症候群 3 例以上の Ph2a 試験に遅れが見られる。

左記本試験は企業治験に切り替えるべきである。

以上